

2024年度 事業計画書

(2024年4月1日～2025年3月31日)

1、事業実施の方針

●物価高騰への対応

物価高騰による生活への打撃が深刻になっています。生活に打撃を受けた子育て家庭への支援が必要です。せめて、子どもの食生活だけでも支えたいとの思いから、食材の配布会を隔月で継続していきます。また、要支援者間に支え合いの文化を醸成するために、「子育てマルシェ」を実施、中古衣料や日用品等の資源循環を図ります。

食材配布会について、フードバンク日光と共催する形で、県補助金による大量の食材提供を受けました。数回にわたって、日用品等も含め配布、子育て中の家庭を支えています。

●子ども第三の居場所(日本財団助成)「あそびのにわ」の行政移管に向けて

あそびのにわへの日本財団の助成が最長あと2年になりました。その後の運営を担保するため、日光市の子ども家庭支援課と打ち合わせを重ねる中で、子どもの居場所キリフリを統合発展する形であそびのにわをひだまりと同様、支援の必要な子どもの居場所として委託事業としていただける見込みです。担当課の理解は得られましたが、日光市の財政の厳しい折です。財政課や議会に納得していただけるような実績と成果をあげ、日光市に報告していく必要があるでしょう。

●人材不足解消の取り組み

子どもの居場所の職員不足が解消できておらず、人員の補充が急務です。人づてに、また、ハローワークを通じて、と募集はしているのですが、中々見つかりません。いつまでも待っていただけませんので、不足した人員なりに、それぞれの居場所が運営できるように、職員の配置を見直していきます。同時に、子どもの配置も見直し、送迎等の負担を減らすなどしていきます。

●保護者向け、里親向けプログラムのファシリテーター育成

昨年に引き続き、MY TREE 母親プログラム、フォスタリングチェンジプログラム、里親研修等、畠山理事長への業務の集中が課題となっています。それぞれに重要なプログラムで、子ども虐待防止、社会的養護の家庭養育推進という観点から、だじょうぶが本業として取り組むべき事業です。フォスタリングチェンジプログラム等、徐々にフォスタリングセンターに実施主体を移す方向性は確認できていますが、その他のプログラムの継続性を担保するためにも、それぞれに、職員をファシリテーターとして育成したり、見学者対応を他の職員が担うなど、畠山理事長に集中している業務を分散していきます。

2、事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係わる事業

① 虐待防止・発見のための相談事業

事業内容	日時	実施場所	従事者数	支出額
24 時間対応の相談窓口を開設し、電話や面談による相談事業を実施する。	毎日	・日光市家庭児童相談室 ・子どもと親の相談室	3 人 5 人	10,950,840
	<p>○日光市家庭児童相談室 ケース情報などが完全共有される中、日光市とだいじょうぶが協働で相談対応にあたっている。昨年度に引き続き、2 人の職員が相談員として、理事長がスーパーバイザーとして従事し、NPO であることの強みを生かしながら対応していく。</p> <p>○子どもと親の相談室 NPO 独自の相談窓口として、子どもの年齢や状況などにより市の相談室の枠からはみ出してしまうケースを中心に対応していく。 物価高騰の影響を受ける子育て家庭を支援していく。支援策の柱として、食材配布を隔月で継続していく。また、要支援家庭の支え合いを促すための子育てマルシェを年 4 回実施する。</p>			

② 虐待されている子どもの保護に関する事業

事業内容	日時	実施場所	従事者数	支出額
ショートステイ事業の実施	随時	Your Place ひだまり 里親宅、等	2 人（相談員等兼任） 5 人	138,700
	<p>実施内容</p> <p>市のショートステイについては、だいじょうぶが受け皿となり、地域の里親や施設の協力を受けて実施していく。Your Place ひだまりでの実施となる場合、保育士やひだまり支援員が泊まり込み、対応する。 また、行き場のない高校生等の緊急時のステイについても対応する。</p>			

③ 虐待防止のための啓発事業

事業内容	実施内容	支出額
児童虐待をテーマとした講演会や研修会の企画と運営、講師派遣、等	<p>○講師派遣 他団体や行政からの要請に応じて、講演会やパネルディスカッション等に人員を派遣する。WEB（Zoom 等）での登壇も積極的に対応していく。 随時／日本全国、各所にて／従事者 3 人</p> <p>○食べて遊んで学んで育つ、子ども応援隊 地域の子どもの貧困課題の、多主体によるプロジェクト。企業チームやNPO、学習塾や個人有志で運営している。</p>	0

<p>児童虐待をテーマとした講演会や研修会の企画と運営、講師派遣、等</p>	<p>…食べて遊んで学んで育つ、子ども応援隊の続き</p> <p>地域の子どもの貧困課題の解決に向けた、多主体によるプロジェクト。企業チームやNPO、学習塾や個人有志で運営している。</p> <p>日光市の子どもの貧困の現状とその原因、背景を調べ、どうすれば子どもの貧困をなくせるのか検討し、具体的な活動につなげていく。</p> <p><朝カフェ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・日光市東中学校：月2回、始業前に会議室で飲み物、軽食を提供 <p><子どもカフェ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループホーム光の里にて：頻度等を再検討する。 <p>施設内交流スペースで飲み物、軽食を提供する。</p> <p>ボードゲームや工作などの遊び、読書、宿題支援を実施する</p> <p>○とちぎフォスタリングセンター研修事業</p> <p>社会的養護の家庭的な養育を推進するため、研修を実施する。</p> <p>徐々にセンターに実施主体を移して行く。今年度は里親認定研修のみ実施。(里親基礎研修、登録前研修)</p> <p>○その他、視察研修の受け入れ、メディア取材の受け入れを随時行う。</p>	<p>1,946,300</p>
--	---	------------------

④児童虐待防止に関する研究事業及び政策提言

事業名	日時	実施場所	従事者数	支出額
<p>虐待してしまう親向けの回復プログラムの開発・実施</p>	<p>父 8/31～、母 9/13～ 全 13 回+面接等</p>	<p>パーティとちぎ -男女共同参画センター、等</p>	<p>4 人</p>	<p>1,129,100</p>
	<p>実 施 内 容</p>			
<p>OMY TREEペアレンツ・プログラム</p> <p>虐待行動に至ってしまった親たちが、自身の心を回復し、子どもへの虐待行動をストップさせるためのプログラム。</p> <p>※今年度 13 回目。定員は 10 人で 13 回連続講座。研修を受けた MY TREE ペアレンツ・プログラム専門スタッフが実施する。</p> <p>今年度も、母親プログラムに加えて、父親プログラムを実施する。</p>				

⑤子どもが健全に育つ環境づくりを支援する事業

事業内容	日時	実施場所	従事者数	支出額
<p>養育困難家庭への訪問支援</p>	<p>毎日(随時)</p>	<p>・ケースのご家庭等</p>	<p>5 人(兼任)</p>	<p>1,393,800</p>
	<p>事 業 実 施 内 容</p>			
<p>○母親や子どもに寄り添い、家庭を訪問し様々な支援を行う 病院等への送迎・同行支援、掃除等の家事支援、他</p>				

事業内容	日 時	実 施 場 所	従事者数	支出額
乳幼児の一時的な託児（保育）事業	・月～金	・ひだまりキッズ	・3人	6,206,590
	事 業 実 施 内 容			
	<p>○ひだまりキッズの運営</p> <p>母親の育児疲れや病気、貧困等の理由で支援が必要な乳幼児を預かり、保育園等に入園するなど所属が決まるまでの期間、一時的な保育を行い、スムーズに入園できるよう支援する</p> <p>降園後利用する子どもたちには、親に代わって家事やちょっとしたお出かけ、外遊びの機会を提供し、安心できる「家庭」を疑似体験できるよう心掛ける。</p>			

事業内容	日 時	実 施 場 所	従事者数	金 額
支援の必要な子どもと母子の居場所事業	・月～金	Your Place ひだまり	5人	・Your… 7,230,840 ・高德 6,639,856 ・キリフリ 2,770,000 ・あそび… 15,765,800
		高德ひだまり	5人	
		子どもの居場所キリフリ	4人	
		あそびのにわ	7人	
事 業 実 施 内 容				
<p>虐待や貧困などの理由で、家で安心して暮らせない支援の必要な子どもを、放課後居場所に預かり、遊びの支援や食事提供、入浴や洗濯の支援等を行い、当たり前の生活を体験してもらい、味方となる大人が存在を示していく。</p> <p>・Your Place ひだまり & 高德ひだまり 1日1か所当たりの利用定員を5人程度とし、職員を2~4人配置して対応にあたる。素でいられる安心できる居場所を目指す。</p> <p>・子どもの居場所キリフリ 自然体験型の居場所。キリフリ自然学校の協力を得て運営していく。あそびのにわとの統合に向け、準備していく。</p> <p>ひだまりを必要とする子どもの特性や子ども同士の相性等を考慮し、3つの居場所を活用して、子どもたちの暮らしを支えていく。</p> <p>※子ども第三の居場所「あそびのにわ」 生活困窮世帯の子を対象として、生活習慣を整え、非認知能力を育む居場所を運営する。週5開所、定員20人 施設周辺の自然環境を生かした遊び、体験機会の提供が特徴。 困窮・養育困難家庭に限らず、子どもの体験不足がしんこくなことが分かった。自然体験活動を「習い事」として捉え、啓発していく。また、保護者が孤立しているケースには、親子での利用など、個別に対応していく。</p>				

事業内容	日 時	実 施 場 所	従事者数	金 額
生活困窮者自立支援法に基づく子どもの学習支援事業	随時 居場所は毎土曜	Your Place ひだまり	2人(居場所兼任) キーデザイン2人	3,325,400
	事 業 実 施 内 容			
	<p>○高校生の中退防止事業 生活困窮家庭の高校生を対象に、高校を無事に卒業し、社会的に自立していくことを目的に、居場所「のんびりカフェ」を運営する。学習支援事業、子どもの居場所の卒業生を主対象に、家庭生活が不安定な中高生を居場所に誘う。居場所を利用する中で築いた職員との信頼関係を基に、情報を収集し個々のニーズに応じた支援を行っていき、課題を解消していく。</p> <p>新型コロナウイルスの感染状況が落ち着けば、長期休み後に通学型チャレンジ合宿を行う。学校への送り出しを行いながら、週末には自信がつくような自然体験チャレンジも行う。</p> <p>○社会的な居場所づくり事業 ※母子の居場所事業に含む</p> <p>○学習支援事業 ※S&S合同会社に委託</p>			12,597,620

事業内容	日 時	実 施 場 所	従事者数	金 額
社会的自立を目指す母子のステップハウス事業	随 時	高德ひだまり	3人(居場所兼任)	0
	事 業 実 施 内 容			
	<p>離婚や生活困窮など様々な事情で、行き場を失った母子を対象とした、支援付き無料低額の住居を提供する。1ケース3か月を目途に自立に向け準備していただく。利用中に自立に必要な資金を貯めるため、就労の援助をする。必要に応じて育児や家事を一緒に行いながら学んでいただく。</p>			0

(2)その他の事業

事 業 名	事 業 内 容	実 施 日 時	支出
「だいじょうぶ」グッズやその他の物品の販売事業	バザーなどの企画・運営	○バザー(有志実行委員会にて実施) あかね祭りやシルバー祭りが実施される時は、会場の一角を借りてバザーを実施する。	0